

京都丹波の教育

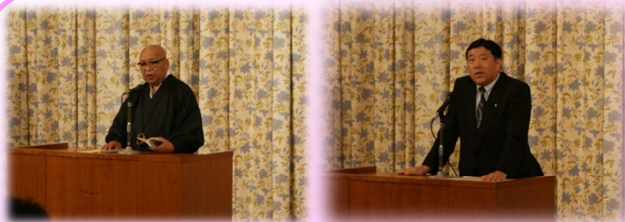
南丹教育局 NEWS

第 31 号

平成 24 年 7 月 20 日



地域のつながりをさらに強く！大きく！ 南丹地区社会教育委員連絡協議会 総会を開催！



平成 24 年 7 月 9 日（月）

ガレリアかめおかを会場にして、「平成 24 年度南丹地区社会教育委員連絡協議会総会」を開催しました。

冒頭、宝積会長より「社会教育委員としての責任と自覚の大切さ」について述べられ、田中京都府南丹教育局長から

は「地域における人と人とのつながりが、健全な青少年の育成につながり、子育ての輪が広がる」との挨拶がありました。

議事は、進行役の前田厚子委員（亀岡市）、議長の太田明平委員（京丹波町）のもとでスムーズに進められ、平成 23 年度の決算・事業報告及び平成 24 年度の予算・事業案・役員体制等について承認されました。



講演「地域の中で青少年をどう理解し、どう導くか - 社会教育委員の役割を考える -」

講師 福井県立大学 教授 大利 一雄 先生



後半は、福井県立大学教授の大利一雄先生に「地域の中で青少年をどう理解し、どう導くか-社会教育委員の役割を考える-」と題し、御講演をいただきました。

大利先生は、社会教育委員として「社会のあらゆるところに“まなびの場”があること」や「自分の立場や相手との関係によって伝え方を変えること」の大切さを述べられ、「おせっかいでもよい。どんどん人々の中に入っていきべき」と、**地域社会のネットワークづくりの重**

要性についても教えてくださいました。

熱い語り口調の中にも、ユーモアをたっぷり交えてお話しいただき、参加者はどんどん話に引き込まれていきました。

最後に、小畑副会長が、講演の御礼と閉会の挨拶の中で「大利先生の御講演で元気をいただいた。地域社会のつながりを大事に、ますます力を発揮したい」と述べ、参加者も社会教育委員としての自覚を深め、その責任の重さをあらためて認識することができました。

